

屋根材を安易に塗装工事と判断するのは危険です！ 先日調査した屋根の事例です。皆様も屋根のお手入れは慎重に！

[事例A：特に問題視されている屋根材、築8～20年頃の建物は要注意です！]

初期症状が起きています！

当社はこの初期症状を見逃しません！



異常な劣化状況の屋根材

劣化進行



異常な劣化状況の屋根材



劣化進行

異常な劣化状況の屋根材



屋根材(スレート)本体が、ミルフィーユの様に層になって剥がれ崩れていく症状です。

[事例B：屋根材の崩れ及び空洞化が多い屋根材です]

屋根材の崩れと空洞化



屋根材のヒビ割れ



ヒビ割れ

屋根材の崩れ



屋根材の崩れと空洞化



屋根材(スレート)本体が、内部から崩れ落ち空洞化していく症状です。

現在は、建材全般の劣化状況や法改正の関係性等さまざまな視点から建物のお手入れを考えていかなければいけない時代になってきました。

到底、塗装の経験と知識だけでは、建物のお手入れに対応出来ません。

当社は『塗装専門店』ではありません。『建物のお手入れ専門店』です。

皆様のご自宅の屋根に、このような症状がありませんか？

これらの屋根を実際に塗装してしまった建物を多数見受けられます。

その原因は、施工業者の調査不足と情報(知識)不足と思われる。

塗装のリスク面を事前に提案してもらえたのか疑問です。

これからお手入れをお考えの方はしっかり調査を行うことです。

※危険ですので皆様は絶対に屋根には上らないで下さい。

このような屋根材は、塗装しても長く持ちません！
密着不良を起こしてしまいます。

塗料メーカーも、塗膜の密着は、屋根材自体が安定している事が大前提としています。